



# 「泣かせた」

ここでの最後の春を  
 迎える気持ちは  
 なんと切なく  
 なんと悲しく  
 心弾ませていた  
 一年前とは大きく違い  
 悲しさだけが  
 心を震わせていた  
 握りしめたこぶし  
 かみ締めていた唇  
 震えていた声  
 今日こそは泣かないと  
 そう心に決めていたのに  
 校長先生のあたたかい言葉  
 送辞が語る私たちの思い出  
 抑えきれない気持ちが  
 一筋の涙と代わって  
 頬をつたった時  
 答辞の言葉の一つ一つが  
 心に大きな波のように  
 語りかけてきた  
 震えた涙声泣かせた  
 普段では言えない  
 家族への感謝の気持ちが  
 泣かせた  
 ともに歩んできた  
 友と呼べるつながりが  
 泣かせた  
 そしてこの母校を  
 心のふるさとと言わせた  
 教え子の言葉が泣かせた  
 両手で指揮を振れない  
 その姿が泣かせた  
 泣きながらピアノを弾く  
 その姿が泣かせた  
 そしてこう卒業生は誓った  
 どこまでも続く同じ空の下  
 私たちはつながっていると



第35回 卒業式 3月5日(木)